

認知症の人と家族の会愛媛支部の中予地区「つどい」は毎月第2月曜日午後1時～3時、場所は松山市末町甲9-1「愛媛県在宅介護研修センター」で行っています。他にも東予地区4カ所、南予地区で2カ所あります。電話相談も月一金午前10時から午後4時でしています。電話番号は、089-923-3760です。

認知症と家族の会のつどいに関しては、上記相談電話にお問い合わせください。



認知症疾患医療センターの活動

砥部病院認知症疾患医療センターでは、当院西隣介護付有料老人ホーム To-be 1階「タヤケこやけ」で毎週金曜日午後1時半から2時半認知症カフェ「オレンジカフェ」を開催しています。第1金曜日は、ウクレレカフェ、第4金曜日は、家族のつどいをしています。第2水曜日に同じ場所、同じ時間で、若年性認知症の方対象で当事者カフェ「おれんじドア えひめ(べにまどんな)」を開催しています。恐れ入りますが、利用希望時はお電話をください。感染特別警戒期となり、利用ご希望がない折は閉店しています。

令和5年2月は、8日松山認知症ネットワーク、16日愛媛大学認知症疾患医療センター勉強会、事例検討会に参加しました。また2月16日HITO病院にて、IHGみかんの会主催「認知症になっても住みやすいまち、地域で寄り添うこと」と題して、中城有喜センター長が講演をしました。80人の参加がありました。参加者の方から10個の質問がありました。中城センター長が回答しています。毎月そのQ&Aを1つずつご紹介したいと思います。

Q1.若い頃から、地域付き合いをされていた方は、認知症になっても、地域や近所の方の協力によって、自宅で生活を続けられている方はいますが、そうでない方は、高齢になってから、地域の協力を得ることは難しく、施設へとなくなってしまうことが多いです。住みやすい街づくり、ケアマネにできる事はなんなんだろうと悩んでいます。

A1.多忙を極めるケアマネージャーのお仕事の中、まちづくりまで視野に入れているのは素晴らしいことだと思います。周囲の援助を受け入れやすい方、受け入れ難い方がいらっしゃいますね。ひと付き合いが好きなひと、嫌いなひともあります。仕事柄、学校の先生やドクターなどとも人のお世話をするようなお仕事の方は、世話をするのが自分で、世話をされるのは自分でないとサービス利用が難しいことが多いようです。そのような方でもひととの繋がりは求められていますので、ケアマネージャーにはいちばん近い存在としてその方の傍にいたいと思います。いちばん近い存在であれば困った際にサインを送ってくれるはずですが、そのサインを見逃さず受け止めることが次につながると思います。

ケアマネージャーさんからの質問でした。では来月もQ&Aをご紹介します。



砥部病院面会について

令和4年12月5日から感染特別警戒期間となり、現在は面会の予約は承っておりません。郵送、来院時お預かした写真やお手紙を病棟内でみてもらっています。ご面会・差し入れについてのご相談は、担当相談員へお願い致します。



なお、covid-19以外にもインフルエンザなど今後も感染症に気をつけていきたいと思えます。

高齢者こころのケアセンター(認知症病棟)の近況



2月12日愛媛マラソンがありました。砥部病院から技能実習生の方も含めて、3人が参加し、3人とも完走できました。病棟からも、まずは、詩吟で士気を高め、一日ランナーをテレビ応援しました。



節分をしました。
鬼が突然、病棟へ乱入、
患者さんに襲いかかりました！
職員に代わって、やっつけてくれました。
素晴らしい。



年中行事がいつも通りできることで、元気が出ますね。



くまのつぶやき

寒暖差が続きますね。「ねこはこたつで丸くなる」のことは通り、あったかく過ごして、春の歌の練習をして、春がくるのを待っています。



砥部病院高齢者こころのケアセンター 相談室(文責 武田)

相談員：青木(176)・中平(512)・武田(516)・菊地(517)

お気づきの点がありましたら、ご連絡ください

